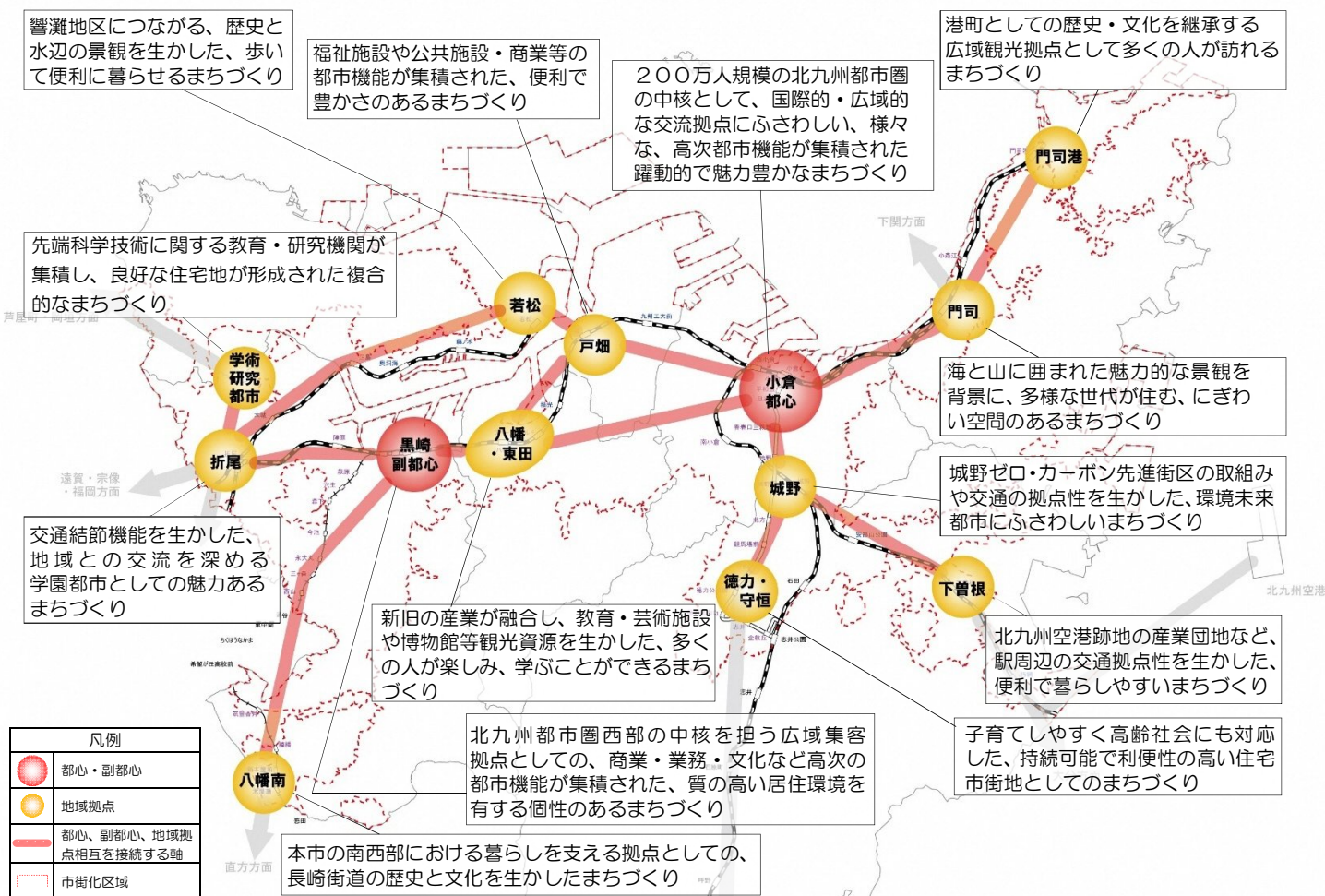


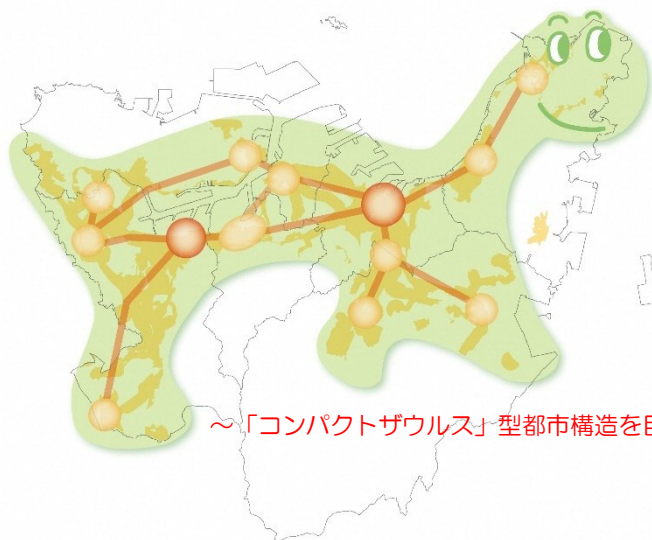
(2) 都市空間形成の方向性(将来都市構造)

本市は、これまで、北九州市都市計画マスタープランにおいて、「街なか」の重点化や「拠点地区」における都市機能の強化を都市づくりの基本としてきましたが、今後とも、これら「街なか」の「拠点」を重視する考え方を継続することとします。

本市の目指すべき都市像を描くと、下図のとおり、都心・副都心、地域拠点とこれらをつなぐ軸を骨格とする都市構造となります。



拠点の構造とまちづくりの方向性



～「コンパクトザウルス」型都市構造を目指して～

コンパクトザウルス

北九州市の拠点とこれらをつなぐ軸を骨格とする、都市構造型キャラクター。子供たちをはじめ多くの人に、コンパクトなまちづくりに関心を持ってもらうため、現れました。街なか出身。